

P FROM AMSTERDAM Parkrand Building

デザイン王国の総力を結集したアーバンプロジェクト。

革新的な都市計画で知られるアムステルダムには、集合住宅建築の逸品がひしめいている。中でも、建築家集団MVRDVが手がけた100戸の老人用集合住宅や、水辺に建つ〈シロダム〉は、この街の建築の前衛性を象徴する傑作だ。

そのMVRDVがこの街に捧げた新たなランドマークは、5つのタワーを上下でつなげた未来的なフォルムの〈パークランド〉(公園の端の意)という集合住宅。目の

前に広がるパークビューが、1つでも多くの窓から見えるようにと考案されたこのフォルムは、同時に人気の高い角部屋を増やし、3つの中庭を生み出した。

なにしろ、中庭の調度品はすべてリチャード・ハッテンがデザインし、建材の特殊煉瓦は国内最古の窯元、マッカム・ティヘラー社製というから、まさに「デザイン王国」の総力を結集したアーバンプロジェクトと言える。



左/「庭間のようにくつろげる空間」がコンセプトの中庭には、ハッテンのデザインによる巨大なランプが。写真奥の黒い2つのシャンデリアも彼の作品。マッカム・ティヘラー社製の煉瓦に施された特殊釉薬が、建物の表面に美しいパターンを作り出す。右/子供用の中庭には、ハッテン作のゾウのオブジェと滑り台。子供のいる住人に好評だ。



昨年完成し、この6月正式にオープンしたパークランドには、公園セクターを含む233戸の住宅と事務所や店舗が入る。市内西部グーゼンフェルド地域に「新しいアイデンティティを与えると同時に、アーバンリニューアルのアイコンとなる建築を」というのがMVRDVに与えられたもうひとつの課題だった。● (Parkrand) <http://www.parkrand.nl>